

第 78 回接続料の算定等に関する研究会の議論を踏まえた
株式会社インターネットイニシアティブへの追加質問及び回答
(移動通信分野における接続料等と利用者料金との関係の検証関係)

問 1 例えばMNOのサブブランドと貴社のサービスクオリティ（輻輳状況）が異なるとして、MVNOとして貴社が仮に同等のサービスクオリティを確保するために必要な帯域を確保するために必要となる追加のコスト（契約帯域増加）を試算できますか。

（佐藤構成員）

（インターネットイニシアティブ回答）

- ネットワークに輻輳が生じている時間帯においてはそれ以上の統計情報（最繁時トラフィック等）が取れないため、必要な帯域（必要となる追加コスト）を推測することは難しいところです。
- 例えば、輻輳が起こらない状態まで一時的に帯域を確保した状態でMVNO側の統計情報（最繁時トラフィック等）をもって推測する方法等が考えられますが、仮にその方法を行うこととした場合、試算にあたってMVNO側に大きくコスト（主に一時的な帯域増強におけるデータ接続料）がかかってくるため、MVNO側に過度な負担がない方法でご対応いただくことを要望いたします。

問 2 MNOの広告費あるいは営業費について、合理的な基準でメインブランドとサブブランドに割り振る提案ができますか。

例えば、広告費を新規加入者数で按分する等。

（佐藤構成員）

（インターネットイニシアティブ回答）

- メインブランドとサブブランドと廉価プランに共通する広告費や営業費に関しましては、例示いただいているとおり、それぞれの新規契約者数で按分する方法が望ましいものと考えます。